

(平成 29 年 7 月試験研究業務月報)

タスクチーム活動：稲発酵粗飼料(稲 WCS) の高品質化

指 導

タスクチームによる飼料用稲(稲 WCS 用)の生育調査

当センターでは、南丹、中丹東、中丹西及び丹後農業改良普及センターとタスクチーム※を組み、各地域にモデルほ場を設置し、早生品種と高糖分品種を活用して高品質な稲 WCS を生産するための活動を行っています。

この度、府内 9 カ所のモデルほ場で田植え後 30 日に活着状況を確認し、と中干し及び追肥等の参考になる 50 日の生育状況を調査しました。

今後は、収穫時及び 2 か月程度貯蔵後の成分を分析し、各農家へ報告することによって、次年度の高品質な稲 WCS 生産に向けた飼料用稲の作付拡大を目指します。

※タスクチーム…研究機関と普及組織が連携して地域の重要課題を解決する活動



田植後 30 日調査 (6 月 27 日・京丹後市)



田植後 50 日調査 (7 月 19 日・舞鶴市)